

# 学級活動学習指導案

指導者 海田町立海田西中学校 佐伯 光信  
佐伯 茜

1 日 時 平成26年 1月20日 (月) 第6校時

2 学年・組 第1学年1組 男子18名 女子17名 計35名

3 場 所 1年1組教室

4 題 材 名 「相手の話を上手に聴きとろう」 学級活動 (2) オ

## 5 題材について

学習指導要領の内容(2)オは、「望ましい人間関係の確立」を指導するよう示している。望ましい人間関係を確立するためには、生徒一人一人が互いを尊重し、良さを認め合い、共に高め合えるような関係をつくっていく必要がある。そのためには、自分の思いを伝えるだけでなく、相手の話をよく聴き、相手の気持ちを捉えることができるようなコミュニケーション能力を高めていくことは重要である。本題材「上手な聴き方」は、人の話に注意深く耳を傾ける大切さを考えさせ、受容的に話を聞いてもらう心地よさを体験させることを通して、コミュニケーション能力を高め、思いやりの心を育てたり、人間関係のトラブル等を未然に防いだりすることが可能であると考えられる。

まず、普段の生活で行われているコミュニケーションの実態を想起させ、相手の話をじっくり聴く意義を考えさせる。その際さまざまな状況や場面を想起させることで、話を聴くことが単に情報を得るだけでなく「心地よい・満足する」など、心理的報酬が得られることに気づかせる。

次に上手な聴き方とはどのようなものかを疑似体験させるために教師がモデリングを行い、聴く時の姿勢や応答の仕方を考えさせる。その後3人グループで「聴き手」「話し手」「観察役」をローテーションで体験させ、それぞれの立場を理解し、客観的に評価することで、望ましい人間関係を確立するためのコミュニケーションの取り方を学ばせる。授業後は、チェックカード等での意識化を図り、今後の集団活動へつなげていく。

## 6 指導のねらい

- ① 学級や学校の集団や自己の生活に関心を持ち、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとする態度を育てる。
- ② 相手の話をじっくり聴きながら、望ましい人間関係を築くための工夫が出来るようにする。

## 7 評価規準

ア, 集団活動や生活への関心・意欲・態度	イ, 集団や社会の一員としての思考・判断・実践	ウ, 集団活動や生活における知識・理解
① 学級や学校の集団や自己の生活に関心を持ち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組もうとしている。	① 相手の話をじっくり聴きながら、望ましい人間関係を気づくための工夫をしている。	① 充実した集団生活を築くことの意義や、学級や学校の生活づくりへの参画の仕方、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の仕方について理解している。

## 8 指導の過程

### (1) 事前の指導

日時	学習内容	評 価				評価方法
		態 意 度 欲	実 判 践 断	理 知 解 識	評価規準	
1月14日(火) 6校時	<b>1 上手な聴き方①</b> 「上手な聴き方」の意義について知る	○			<b>アー①</b> 学級や学校の集団や自己の生活に関心を持ちながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実と向上に取り組んでいる。	発言・発表
1月20日(月) 6校時	<b>2 上手な聴き方②</b> グループに分かれて、「上手な聴き方」を実践し、活用できるようにする。		○	○	<b>イー①</b> 相手の話をじっくり聴きながら、望ましい人間関係を築くための工夫をしている。 <b>ウー①</b> 充実した集団生活を築くことの意義や、学級や学校の生活づくりへの参画の仕方、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の仕方について理解している。	発言・発表 プリント

### (2) 本時の展開

#### ①本時の目標

「上手な聴き方」を考え、グループに分かれて実践し、学校生活で活用できるようにする。

#### ②観点別評価規準

◎集団や社会の一員としての思考・判断・実践

相手の話をじっくり聴きながら、望ましい人間関係を築くための工夫をしている。(イー①)

◎集団活動や生活における知識・理解

充実した集団生活を築くことの意義や、学級や学校の生活づくりへの参画の仕方、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の仕方について理解している。(ウー①)

#### ③準備物

評価プリント、振り返りプリント

#### ④生徒指導の三機能をいかした授業づくりの視点から

<b>A 生徒に学習の見通しを持たせるための取組及び工夫点</b>
① 「学習の流れ」を提示して、これまでの学習とのつながりを認識させるとともに、見通しをもたせて、学習意欲を高める。
② 本時の学習課題と目標を明確にすることで、課題意識をはっきりさせる。
③ 生徒による振り返り、教師によるまとめをていねいに行うことにより、生徒に理解を深めさせるとともに、次時の学習内容へつながりを持たせる。
<b>B 生徒の主体的な学習活動を引き出すための取組及び工夫点</b>
① 生徒の興味・関心を高める教材を使用する。
② 授業内で身につけた知識を活用する場面を設定する。
③ 自分の考えなどをプリントに書き、整理させる。
④ 互いの意見を交流することで、自分の意見を伝え、人の意見を受け入れる姿勢を育てる。
<b>C 学習規律を徹底させるための取組</b>
① 授業前後の立腰と礼は確実に言い、できていない時にはやり直しをして、確実にやりきるようにする。
② 集中して「聞く」「話す」「書く」の姿勢をつくる。

⑤学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項(◇) ★目指す子どもの姿 ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導と手立て	評価規準 〔評価方法〕 ◎肯定的評価
挨拶	○授業開始の挨拶をする	「立腰」「礼」の指導 → C①	
導入 10分	○前時の学習について振り返る。  ○本時のねらいと学習のながれを確認する。	◇数人の生徒に発表させる。 ◇「上手に質問してもらえると話しやすい」「相手の話を聴くのも面白いものだった」「話の中に相手の性格が出るといった」などコミュニケーションへの関心の高まりを再確認する。  ◇めあてを確認し、「今、一番興味があること」について、「話し手」「聞き手」「観察役」の3人グループで活動することを伝える。  めあて 「上手な聴き方」を考え、学校生活で活用できるようになろう。  本時の中心課題を最初に提示 → A② 『学習の流れ』提示 → A① 生徒の興味関心を高める教材を提示 → B①	
展開 5分	○教師によるロールプレイを見て、自分なりの「上手な聴き方」を考える。	◇T1・T2により、望ましくない聴き方（「視線を合わせない」「話の途中で相手の考えを否定する」「相手が話し切る前に自分の関心事へ話題を変える」など）と望ましい聴き方の2つのロールプレイを提示する。  ◇どんな聴き方をすれば「話しやすくなるか」、「相手が気持ちよく話せるか」を考えさせる。  ◆体の向け方、視線、相づちなどの視点を与えて考えさせる。  自分の考えの整理 → B③	
20分  10分	○ロールプレイを実践する。〔グループ〕  ○感想を話し合う。	◇3人グループで活動させる。 ◇一人4分で話をさせる。 ◇各グループの準備の状況を確認し、一斉に活動に入らせる。  「聞く」「話す」姿勢の確認 → C②  ◇話し役、聴き役、観察役をローテーションし、全ての立場を体験させる。  ◇個人で考えた結果を、グループで整理させる。  共感的人間関係の伸長 → B④  ポイントを「書く」ことで整理 → C②  ◇グループでの整理した考えを全体で交流する。 ◇ポイントを生徒の発言で整理する。 ・視線を合わせてうなずいたり聴いたりすれば、相手が気持ちよく話すことが分かった。 ・最後までじっくり聴くことで、相手の気持ちがよく分かった。	相手の話をじっくり聴きながら、望ましい人間関係を気づくための工夫をしている。〔プリント〕  ◎視線を合わせてうなずいたり聴いたりすれば、相手が気持ちよく話すことが分かったね。

まとめ 5分	○  まとめを考える	◇ 振り返りワークシートに記入させる。 ◇ 今後の自分の学校生活に活用できることを考えてみる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           ★生徒のまとめの例（めざす子どもの姿）            「教科の学習での話合いなどに活かしていきたい。」            「クラスメイトの考えを、自分の考えに活かせるような話合            いを授業で行っていききたい。」         </div>	充実した集団生活を築くことの意義や、学級や学校の生活づくりへの参画の仕方、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の仕方について理解している。 [発言・発表]
挨拶	○ 授業終了の挨拶をする	<div style="border: 2px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">           「立腰」「礼」の指導 ⇒ C①         </div>	

### (3) 事後の指導

- 帰りのホームルームなどで、上手な聴き方が定着しているか、定期的に相互評価を行う。
- 学級通信等を利用して生徒同士の考えを共有し、提示することで今後の自分の生活に活用させる。